

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	24-069	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Association of alcohol abstinence with risk of hyperuricemia in rural Chinese adults: the Henan Rural Cohort Study 中国農村地域の成人における禁酒と高尿酸血症リスクとの関連：河南省農村コホート研究		
執筆者		
Dong X, Zhang L, Kang N, Zhang H, Liao W, Liu X, Liu P, Yin L, Wang C.		
掲載誌		
BMC Public Health. 2025 Feb 6;25(1):496. doi: 10.1186/s12889-025-21545-6.		
キーワード		PMID
飲酒状況、禁酒、高尿酸血症、アルコール飲料、農村成人		39915748
要 旨		
<p>背景：アルコール摂取は高尿酸血症（HUA）を引き起こす可能性があるが、禁酒の健康効果、特に禁酒期間と HUA との関係を検討した研究は少ない。本研究は、中国農村地域の成人を対象に、禁酒と HUA との関連を評価することを目的とした。</p> <p>方法：本研究は、河南省農村コホート研究（2015～2017年）における 38,855 名（男性 15,371 名、女性 23,484 名）を対象とした横断研究である。質問票によりアルコール摂取パターンを収集した。アルコール飲料の種類、禁酒状況および禁酒期間と HUA との関連を評価するため、多変量ロジスティック回帰分析を行った。さらに、禁酒期間の増加と HUA リスクとの用量反応関係を可視化するために、制限付き立方スプラインモデルを用いた。</p> <p>結果：38,855 名中、3,978 名が HUA と判定された。ビール、リキュール、日本酒を含む総アルコール摂取量は HUA のリスク上昇と有意に関連し、特に男性でその傾向が顕著であった。現在飲酒者と比較して、過去飲酒者および非飲酒者の HUA のオッズ比（95%CI）はそれぞれ 0.686 (0.676-0.844) および 0.718 (0.649-0.793) と低かった。さらに、禁酒期間が 5 年未満、6-10 年、11 年以上の過去飲酒者における HUA の aOR (95%CI) は、それぞれ 0.868 (0.693-1.086)、0.753 (0.519-1.092)、0.717 (0.517-0.990) であった。禁酒期間長くなるにつれて HUA リスクが減少する傾向（P for trend < 0.050）が認められ、負の線形用量反応関係が観察された。</p> <p>結論：現在飲酒者と比較して、過去飲酒者は HUA のリスクが有意に低かった。さらに、長期間の禁酒は HUA 予防に有益である可能性がある。</p>		